

これまでのとりくみ

【教育目標(めざす生徒の姿)】

- 科学的なものの見方・考え方に立ち、自ら学び、考え、主体的に行動できる生徒(自立)
- 友愛を重んじ、互いに高め合い、人権を尊ぶ生徒(敬愛)
- 勤労を愛し、責任感の強い生徒(誠実)

【本年度の重点課題】

新学習指導要領のめざす方向性に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして授業改善を推進するために、各教科で単元のふりかえりの時間を確保している。

またさまざまな要因から学習に躓いている生徒へのサポートとして、テスト前の放課後学習や学習支援ボランティアを活用しての学習支援を行う取り組みを推進する。

全国学力・学習状況調査の結果より

教科の結果より

【無解答率からみえる課題】 ※数値に関しては、(本校の無解答率/全国の無解答率)を表しています。

- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ意味を説明することができる(29.3/23.5) → **読解力が必要**
- ・総合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができる(35.7/29.6) → **説明する力が必要**

【正答率からみえる課題】 ※数値に関しては、(本校の正答率/全国の正答率)を表しています。

- ・話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する(57.3/63.2)
- ・本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する(37.6/42.6)
- ・表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する(42.0/49.3)

【数学】記述式解答(25.0/29.3)は、昨年度の21.9よりは上昇しているが未だに低いのが課題である。

【国語】本文や資料の内容を踏まえ、自分で考えて記述する問題に課題がある。

児童・生徒質問紙より ※

	本校	全国
「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」	75.7	80.7
「普段(月曜日から金曜日)、1日当たり4時間以上、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などを行っている(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)」	26.4	18.2
「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」	69.6	72.2

→生活習慣やICT機器の使い方の見直しが必要。 ※回答率は、肯定的回答(%)を表しています。

これからのとりくみ

★生活において

今後、課題を改善していくにあたって、携帯電話・スマートフォンの生徒の使用状況についてアンケートを行い、その結果を保護者に公表することで、現状を知っていただく必要がある。

その上で、情報モラル教育に関する講習会に保護者にも積極的に参加していただき、家庭内で携帯電話・スマートフォンの使い方について、話し合う機会を持つきっかけにつなげていく。

★授業において

・記述することに課題があるため、各単元の振り返りなどを行い、自分の意見や考えを書く時間を増やしていく。また、文章や資料を読み取った上で、内容を要約させる練習も取り入れていく。

・自分の答えの筋道などをまとめる時間の確保とそれらを班などの少人数で発表する機会を増やしていく。